

## はじめに

スマートフォンが世に出回り始めてから、急速に世の中が変わりましたが、子どもたちにも変化が起ころい始めました。

私自身も携帯電話からスマートフォンに買い替えて、生活や習慣が変わりました。

この本を出版させていただくことになったきっかけは、私のブログです。

教育や勉強に関することについて、私の個人的な意見や感想を含めて、自由に書かせていただいております。

子育て中のお父さん、お母さん、そして中高生の子どもたちに少しでも役立つような情報を提供したいという思いで、今も書き続けております。

この本は、大半の部分を私のブログに書かせていただいた内容を加筆・修正し、まとめ直しております。

ところで、私が個別指導教室の運営の仕事に携わって15年になります。

しかし、大学卒業後12年間は教育関連の仕事ではなく、金融関係の仕事をしていました。

《ではなぜ、私が塾運営をすることになったのか？》

幾度かの挫折と出会いがありました。

中学時代に、ある1冊の本との出会いが、私に目標を与えてくれました。

その本とは、『入江塾の秘密』（入江伸、祥伝社。現在は『伝説の入江塾は、何を教えたか』で出版されています）です。当時、関西に伸学社という塾があり、毎年何十人も灘高に合格させていた塾長の著書です。

この本を読んで、東京大学を目指そうと思ったのは、私が中学2年の終わりの頃でした。地元の超進学校である広島大学附属福山高校の受験に失敗し、公立高校へ進学しました。大学は絶対に東京大学へ行こうと決意し勉強をしていましたが、高校3年生の共通一次試験（現在は大学入試センター試験になっています）では7割しかとれず、その年は東京大学受験を諦め、東京の他の国公立大学を受験しました。されど……結果は、不合格！

一浪してリベンジしようと決め、東京大学受験の再チャレンジを目指して河合塾広島校の寮で浪人生活をスタートしました。その河合塾で、数学の中村登志彦先生（現在も河合塾で数学Ⅲを教えていらつしゃいます）との出会いが、私を数学教師への道へと向かわせました。

1年後、東京大学受験は諦め広島大学理学部数学科を受験し合格、そして入学し、4年間の大学生活で中学・高校数学の教員免許一種を取得しました。けれども、教師にはならず、日本長期信用銀行（現在の新生銀行）のシステム開発会社へ就職しました。しかし、8年後の銀行の破綻を機に損害保険・生

命保険販売の仕事に転職しました。

この転職で、人と人との関わり合いの楽しさを知り、昔の教育への関心がよみがえり、学習塾への転職を決めました。そして現在に至ります。

本や予備校での恩師との出会い、そして社会経験を通じて学んだことを子どもたちの成長に生かしたいという思いから、塾運営をすることに決めました。

子どもたちには一日でも早く将来の目標を持つてほしい、そのためのスタートを早めに切つて、志望校への合格、そして将来の夢をかなえてほしいと願っています。

私のような回り道はしないで、まっすぐに夢を実現してほしいと願っています。

《この本を手にしてくださった皆さんにお伝えしたい内容》

昨今の時代の変化は私が子どもの頃の40年前とは比べものにならないぐらい速くなっています。昭和の間に黒電話からプッシュホンへ変わり、平成に入つて携帯電話が一般に普及してからというもの、現在のスマートフォンの普及まで加速度的に変化しています。

その加速している時代で成長していく子どもたちもまた変化しています。

今のお父さん、お母さんが、「自分が子どもの頃は……」と、お子さんに言っても理解してもらえませんが。

また、お父さん、お母さんがお子さんを理解することも難しくなっているとも言えます。

この本では、現在中学生、高校生の子どもをお持ちのお父さん、お母さんにぜひ読んでいただき、もつとお子さんのことを理解してほしいと思つて書きました。もちろん、中学生、高校生であるお子さん自身にも読んでいただきたい内容もあります。

私自身も父親として子育てでも経験しております。

この本が、お父さん、お母さん、そして中高生のお子さんのお役に、少しでも立てれば幸いです。